

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	事業所内での研修や勉強会を定期的に行っているが、必ずしも習得した知識や技術を業務の中で効率的に活かしてきれていないことがある。	職員一人ひとりが自分で考える力を身につけ、積極的に業務に取り組むことで、職員全員がレベルアップする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の業務の中で課題を抽出し、職員が主体となって実践に即した勉強会を行う。</li> <li>・同時にマニュアルの見直しを行う。</li> <li>・順番に担当を担うことで自己研鑽をする。</li> <li>・外部研修に参加し、他の職員にフィードバックする。</li> </ul>	12 か月
2	38・48	利用者の高齢化、重度化により、今までのように出かけたり、レクや趣味を楽しむ活動的な生活ができにくくなっている。	次第にADLが低下していく中でも、その時々々の状態に応じて生活様式を見直しながら、笑顔と会話を引き出すケアを実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの能力や状態を見極め、それに合ったレクリエーションやリハビリを工夫する。</li> <li>・学習療法やタートルケアを行える職員を増やす。</li> <li>・職員全員が毎日、必ず利用者一人ひとりと会話する。</li> </ul>	12 か月
3	34	急変、緊急時のマニュアルを作り、定期的に研修を行っているが、利用者の高齢化、重度化に伴い、医師から急変の可能性を告げられる利用者が増えてきている。	いつ、どの職員が急変や事故発生時に遭遇しても、落ち着いた的確に対応できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療職による応急手当、初期対応の訓練を行う。</li> <li>・緊急時マニュアルの見直しをする。</li> <li>・医師や訪問看護、家族と密に連絡を取り、情報を共有することで急変時に備える。</li> </ul>	12 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。